

みんなで共に過ごす学校のことを考えた生徒総会!

5月28日(木)の5・6時間目に、生徒総会が開催されました。生徒会三役と専門委員長・副委員長の皆さんによる総会運営は、大変ハキハキとした答弁で素晴らしかったです。各クラスの意見発表においては、学級の代表として質問する人が学校のことや生徒一人ひとりのことについて質問や意見する姿は凛々しかったです。感心しましたのは、ほとんどの意見や質問の多くは「生徒一人ひとりにとって」「誰もがわかるように」といったように発言されている意見の主語が生徒になっていたことです。さすが武中と感じたひと時となりました。そもそも生徒総会とは、生徒の皆さん全員で構成された話し合いの最高議決の場となります。生徒の皆さんで、「より良い学校」を創っていくために、一人ひとりの意見を出し合いながら、対立する意見をすりあわせ、少数意見でも意義のあるものを取り上げ、みんなで決まったことに対しては協力して取り組んでいくことに学びの深まりが出てきます。さらに、話し合いによって決まる仕組みを知することは、今後、職場の総会や住んでる地区総会、PTA総会、町議会、国会、国連総会といったように、臆することなく自分の意見を出せる経験値となっていきます。話し合いによって秩序や目標を決めることを大切にするを通して争いやトラブルのない、誰もが安心して過ごせる学校を創っていきましょう。



質疑応答の様子



生徒総会の様子



生徒会三役と専門委員長・副委員長

2年生対象に菊陽町グローバル研修の案内と説明会

6月1日(月)に、大分県の別府市にある立命館アジア太平洋大学(APU)から、社会連携プロデューサーの先生と3名の学生さんが来校されました。

菊陽町では、未来を担い世界に羽ばたく子どもを育てることを目的として研修プログラムを策定されています。このプログラムは、「国際的な視野を持ち主体的に行動できるグローバル人材の育成」を目指すものです。町内在住の中学2年生の希望者30名

を対象に、10月10日～12日までの2泊3日の日程で、APUに宿泊し、体験的な交流学习を行う予定です。今回の説明会では、町教育委員会からもプログラムの趣旨や内容について丁寧な説明がありました。APUの学生さんの説明は、3名とも話が面白く、みんなよく顔を上げて聞いてくれていました。学校を出られる際に、学生さんから「武蔵ヶ中の生徒さんが熱心に話を聞いてくれたり、質問にも楽しそうに返してくれたり、とても話しやすかったです。素晴らしい生徒さんたちですね。」と褒めていただきました。菊陽町教育委員会からの説明の最後には、二殿教育長先生からも、英語が苦手な人も世界とつながる一步を踏み出してほしいというエールもいただきました。2年生の皆さん、参加費は無料で個人負担は2日間で2400円程度という破格な企画です。こんなチャンスはそんなにはありませんので、お家の人と相談をされて参加を検討してください。



APUの学生さん3名と教育長のお話の様子

保護者の皆様へ

今週は、台風6号の熊本県最接近の際は、部活動を中止とし、早めに下校させた際は、保護者の皆様のご協力のご理解をいただき有り難うございました。無事に全生徒帰宅できてほっとしております。帰宅が完了したことを確認し、空を見上げたところ大きな虹ができていたことに感動しました。それも2つの虹のリングが本校の上空に。生徒の皆さんの無事な帰宅を教えてくれたように思え、しばらく見続けてしまいました。来週は、中間テストがありますので、問題解いて晴れやかな笑顔を見れることを期待するばかりです。ご家庭でも、テストはベストを尽くすように声かけと応援ください。

